

伝統の継承、荒廃農地対策、農村環境・景観保全

JR 烏山線と共存する農村環境をいつまでも**活動の経緯**

平成13年度の土地改良区設立を機に圃場整備事業に合わせて栃木県の生態系保全空間整備事業により整備された猿久保田んぼ公園と JR 烏山線沿いを中心に農村環境及び景観の保全活動に取り組む。

活動の概要

猿久保田んぼ公園及び周辺において彼岸花、シヤクナゲ及びヒマワリを植栽し、継続的に草刈りなどの維持管理を実施するほか、生き物調査やホタルの観察会も実施。



コロナ禍による中断後の生き物調査



ヒマワリ畑沿いを徐行運転する「アキュム」

活動の成果、主な実績等

○生き物調査やホタルの観察会の参加者は、平成30年度は104人であったが令和2～4年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。令和5年度に復活した。

○令和5年度は、7月1日のNHK「おはよう日本（関東甲信越）」にてひまわりの種まき及びホタルの観察会が放映され、遠方からの訪問者が増加。

○また、JR 東日本より宇都宮運輸区から烏山線開業100周年の一環でひまわりの種まき作業などへの協力、同社によるひまわりの開花時における減速運転のイベントが行われ、駅の広告、車内放送、マスコミの報道の効果も相まって例年の倍近くの者が猿久保田んぼ公園及びひまわり畑を訪れた。